

■ 農業経営の近代化に<sup>つ</sup>尽くす

# 森川 源三郎

もりかわ げんざぶろう

出身地 秋田市

1845年（弘化2年）～1926年（大正15年）

県第1大区4小区<sup>かんぎょう</sup>勸業係となり、第1回<sup>しゅ し こうかん</sup>種子交換会を成功させる。県植物自由試験場<sup>たんとうにん</sup>担当者として、畑作・果樹園芸の品種改良、栽培<sup>さいばいしょうれい</sup>奨励に成果を上げる。県農会を組織し、県農会長。明治期の代表老農<sup>た</sup>と称えられる。



## 年譜

- 1845年 秋田市に生まれる。
- 1872年 秋田県第1大区4小区<sup>かんぎょう</sup>勸業係。
- 1879年 目白大豆<sup>さいばいほう</sup>の栽培法に成功。
- 1880年 秋田県植物自由試験場<sup>たんとうにん</sup>担当者。
- 1881年 全国農談会の会員に選ばれ上京。
- 1890年 第3回内国勸業博覧会<sup>かんぎょうはくらんかい</sup>出品、3等有功賞。
- 1894年 農事<sup>しょうれい</sup>奨励のため九州地方<sup>じゅうかい</sup>を巡回。
- 1898年 秋田県農会会長。
- 1905年 余楽庵<sup>よらくあん</sup>を結び、上北手<sup>かみきたて</sup>の集落<sup>こうせい</sup>更正に努力。
- 1926年 秋田市で没。81歳。